

目で見える現在の野洲市の財政状況 と 行財政改革の取組について

令和4年6月

野洲市政策調整部行財政改革推進室



これまでの野洲市の財政状況について

野洲市は裕福？



かつては裕福な時代があった。



市内の外資系企業の業績が好調な時代(昭和60年～平成13年頃まで)

現在よりも大きな法人市民税収入があった。

当時建設した施設:文化3施設、歴史民俗博物館、
野洲総合体育館・旧温水プール、健康福祉センター等

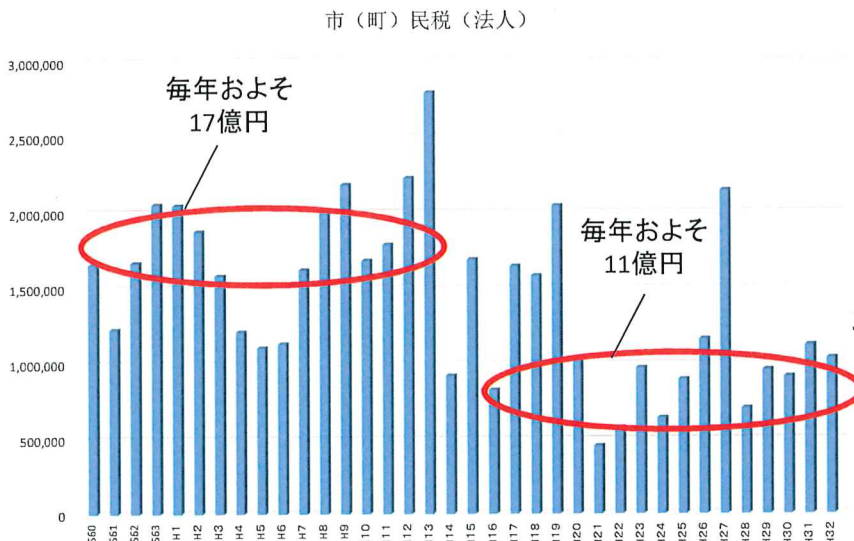


しかし、今は違う・・・。



法人市民税の変遷

・法人市民税グラフ



昭和の終わりから
平成の前半にかけて、
法人市民税が現在より
毎年概ね6億程度多かった。

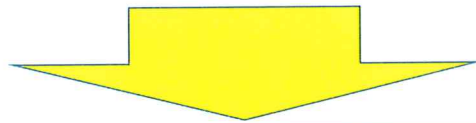


平成14年度以降、法人市民税
10億円を下回る年が大半を占
めるようになる。

最近の野洲市の財政状況について

野洲市にもたらされた特別な収入

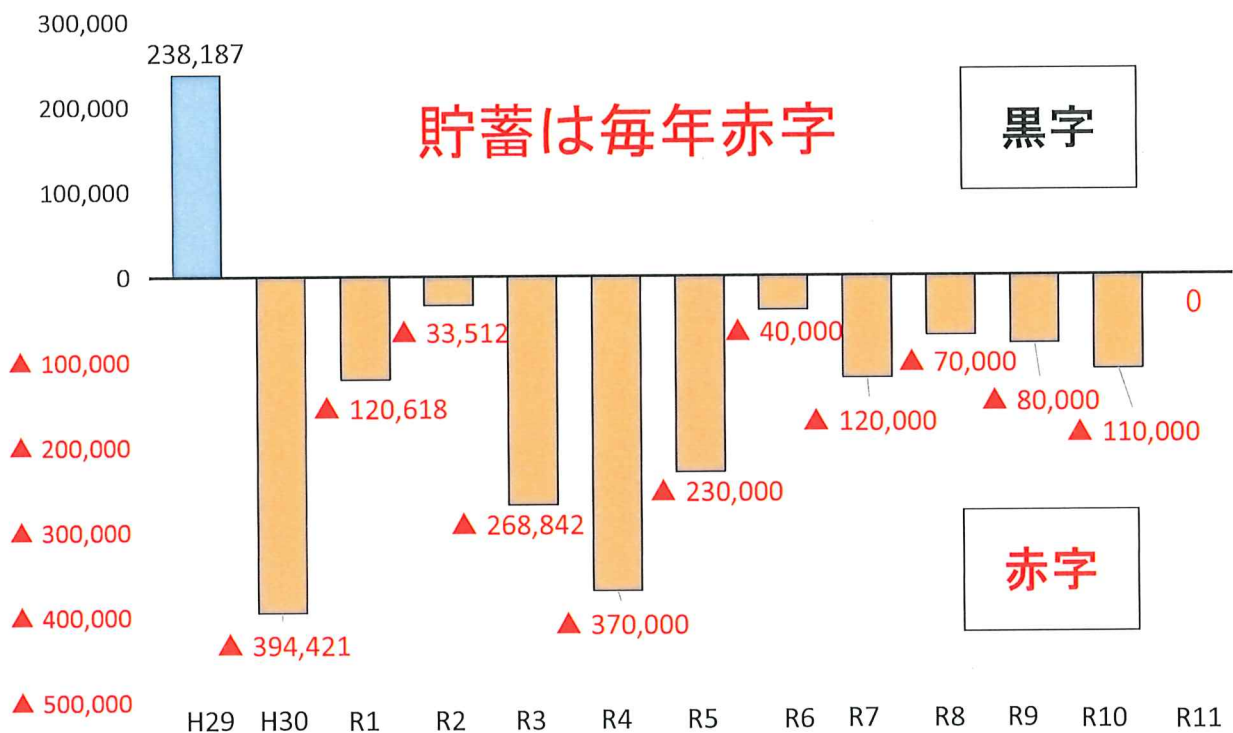
1. 合併した団体が認められた「合併特例債」で、約13.7億円の基金造成(貯金積立)が可能だった。⇒現在0千円
2. 大規模な土地売却(東消防署跡地約4.8億、三上工業団地約7.9億)
3. 合併による普通地方交付税優遇措置⇒現在より約8.5億円多く交付



この特別な収入は将来に備えた貯蓄に回されていなかった。

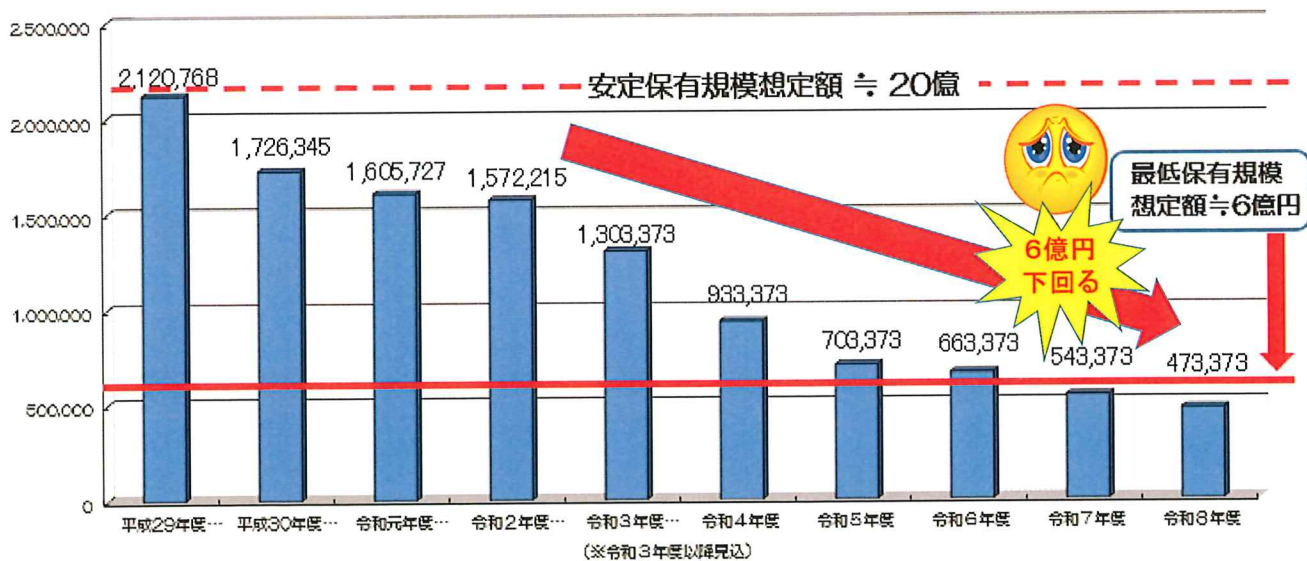
野洲市の貯蓄について

単位:千円



野洲市の貯蓄(財政調整基金)の推移

単位:千円



つまり原因は・・・歳出(支出)と歳入(収入)とのバランスが**不均衡**であること

主な歳出(支出)増の要因



・合併後の大規模事業への投資によるもの
 ⇒新たなコミセン、給食センターの整備、学校耐震化・改修への対応、幼稚園・こども園、野洲駅周辺都市基盤、防災センター、余熱利用施設、発達支援センターの整備 等



・行政サービスの直営化による経常経費(人件費等)の増大によるもの
 ⇒文化ホール、体育館の運営 等

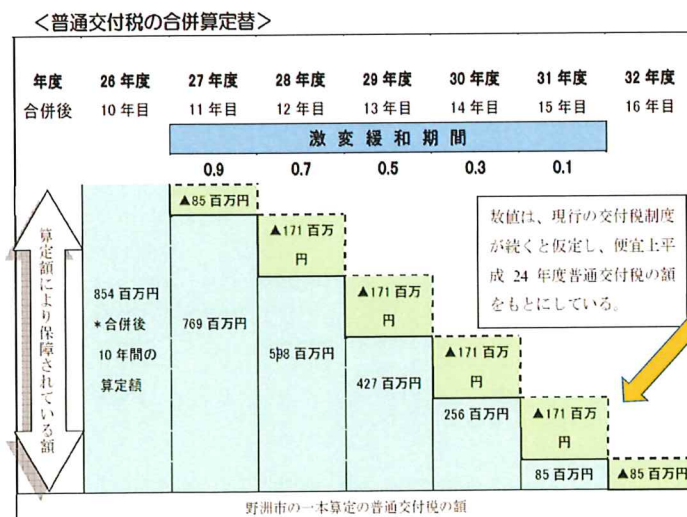


・高齢化等に伴う社会保障関係経費の増大によるもの 等

つまり原因は・・・歳出(支出)と歳入(収入)とのバランスが**不均衡**

主な歳入(収入)減の要因

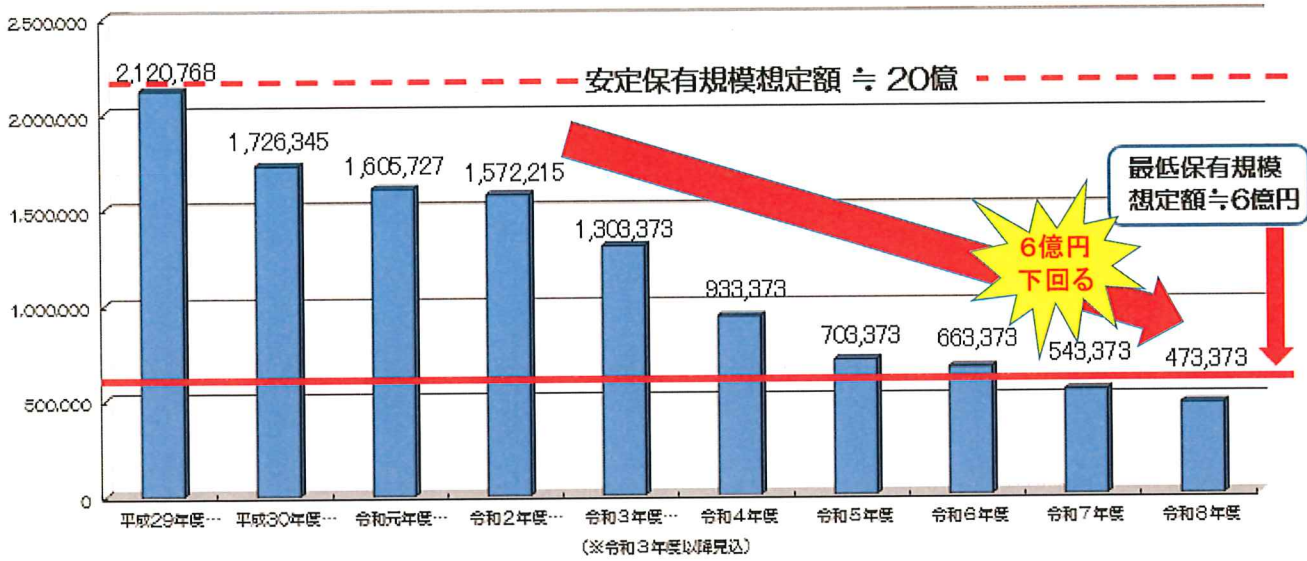
・普通地方交付税の合併算定替えによるもの



普通交付税が
 毎年0.85億～1.7億の減額

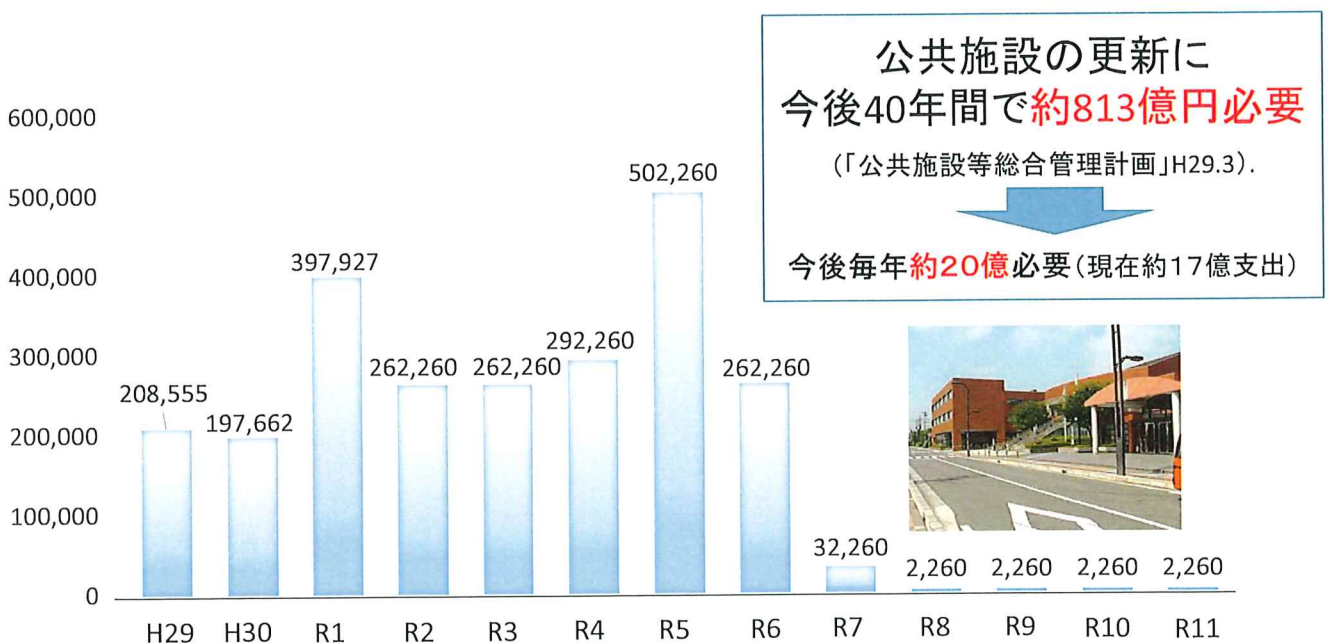
野洲市の貯蓄(財政調整基金)の推移

単位:千円



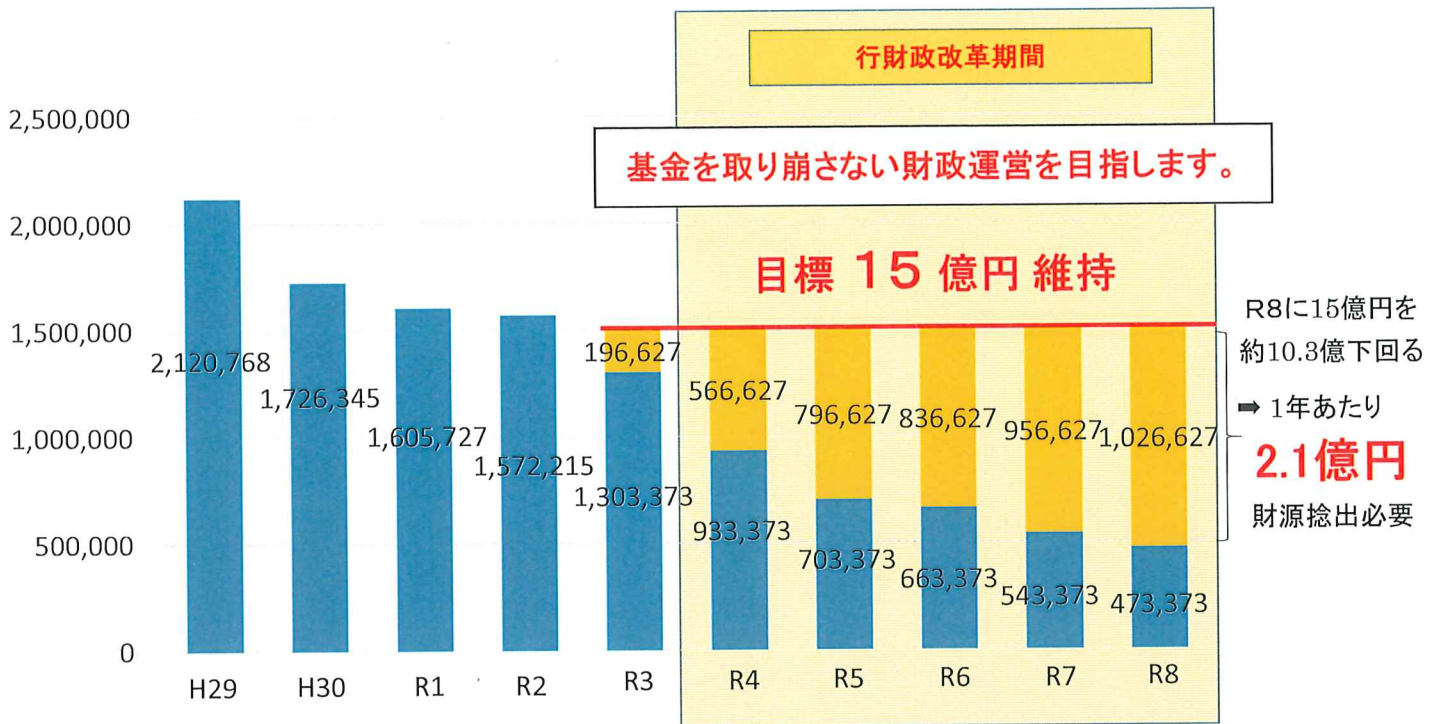
施設整備の貯金(公共施設等整備基金)の推移

単位:千円

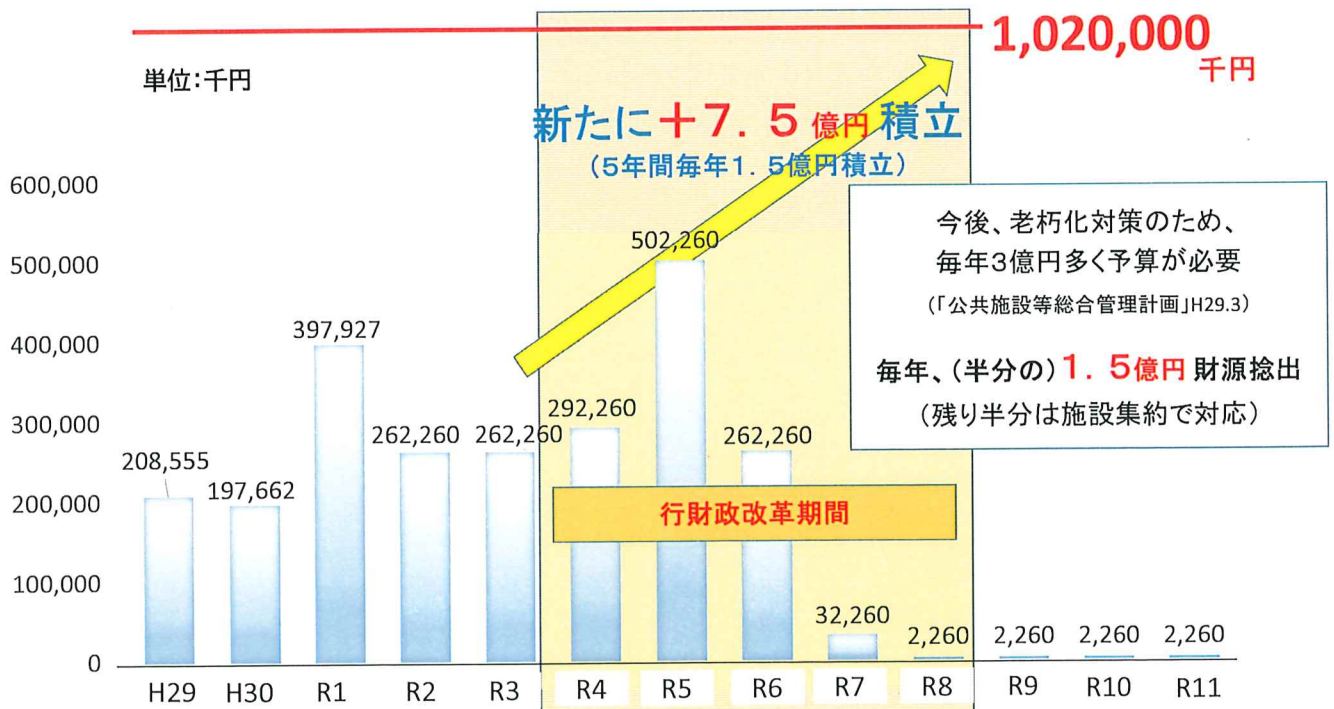


野洲市の貯蓄(財政調整基金)の目標

単位:千円



老朽化対策のため必要な貯金(公共施設等整備基金)



野洲市行財政改革の取組について

今回の改革の基本的な考え方

・市民生活に密着したサービスを維持するための改革

・一部の利益ではなく、市民全体の利益を優先する改革

・今の課題だけでなく、新たな課題やニーズに対応できる行財政運営を実現するための改革

・福祉や子育て・教育に出来るだけ配慮した改革



行財政改革の取組(一行財政改革推進プランより)

主な歳出(支出)削減の取組

- ①公共サービスのあり方の見直し
⇒民間保育事業所の参入促進等、給食業務のあり方見直し 等
- ②人件費圧縮の取組
⇒時間外勤務手当の上限設定、組織再編・配置等見直し 等
- ⑤補助事業・サービス等見直し
⇒夏祭り・オクトーバーフェストの支援停止、補助金適正化、福祉バス一本化
敬老祝い金の見直し 等
- ⑥事業推進の合理化
⇒各校ごとに設置している小中学校プールのあり方検討



行財政改革の取組(一行財政改革推進プランより)

主な歳出(支出)削減の取組

- ⑦公共施設の統廃合を含めた機能のあり方の見直し
⇒野洲文化ホール、野洲文化小劇場、さざなみホールの1施設への統合
市民サービスセンターの本庁舎への統合、
シルバーワークプラザの同プラザやすへの統合
大型共同作業所の民間等貸付、歴史民俗博物館の多様な活用 等



行財政改革の取組(一行財政改革推進プランより)

主な歳入(収入)確保の取組

⑧資産の有効活用

⇒財産売却、民間貸付・有効活用、賃料適正化、等

⑨各種広告収入

⇒広報誌、市HP、庁舎案内看板、ネーミングライツ 等

⑩ふるさと納税の推進

⑫使用料・手数料の見直し(※別途説明)

行財政改革の取組(一行財政改革推進プランより)

目標

I 財政調整基金15億円の維持

⇒歳出(支出)と歳入(収入)とのバランスを均衡させる行財政運営の実現

II 公共施設等整備基金の新たな7.5億円の積立

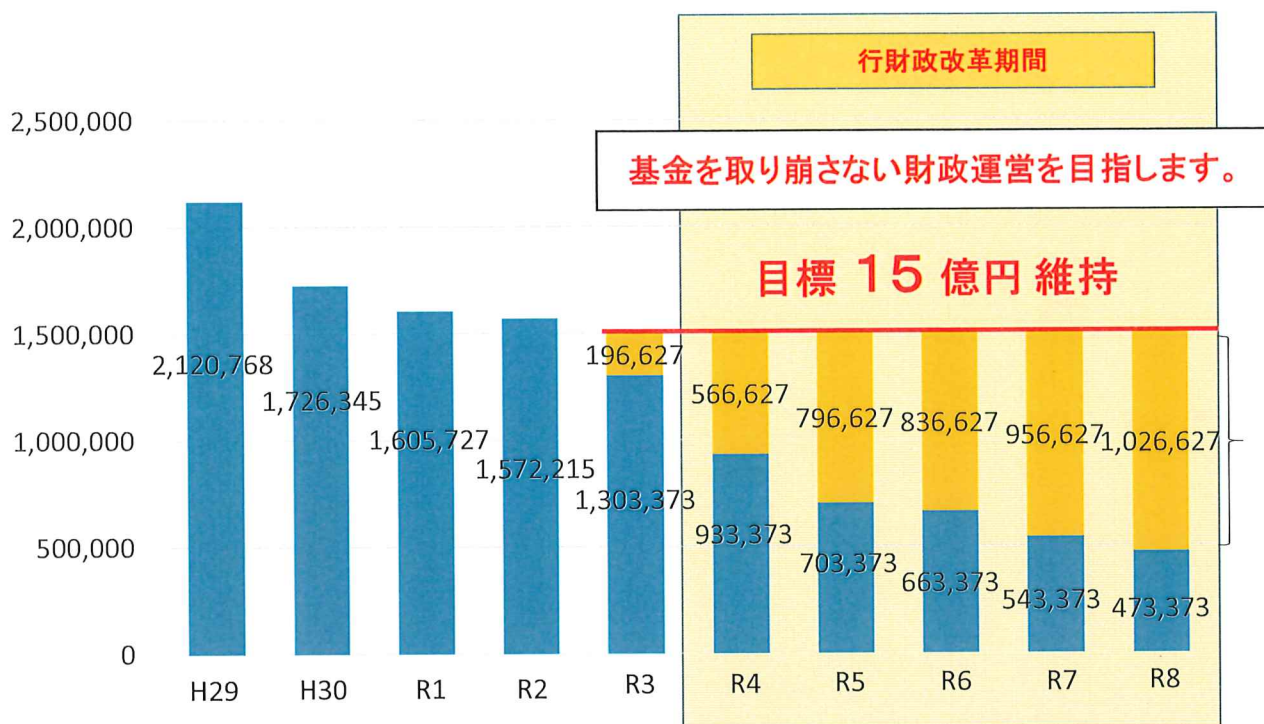
III 公共施設の統廃合を着実に推進

⇒(II・IIIにより)今後更に必要となる老朽化に対応できる行財政運営の実現



野洲市の貯蓄(財政調整基金)の目標

単位:千円

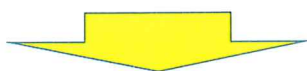


市民の皆様へのお約束とお願い

行財政改革成功の為には、市民の皆様のご理解とご協力の下、皆様と一緒に改革に取り組む必要があります。

野洲市役所は

- ・これまでの事業や施設の必要性、経済性、ニーズ、効果について点検・見直しを行い、変化を恐れず改革を進めます。
- ・市役所業務のムリ・ムラ・ムダを無くし、効率性と生産性を高める取組を進め、**高いコストパフォーマンスを発揮する組織に変革します。**
- ・市民の皆様への**現在の行政サービスを維持し、更には、新たなニーズにも応えられる行政を実現するために改革を進めます。**



行財政改革にご理解とご協力をお願いします。



ご清聴ありがとうございました。

